

会社別勘定科目の削除可否の確認方法

「会社別勘定科目体系」画面での[削除]ボタンは常に有効となっていますが、勘定科目体系の見直し等により勘定科目を削除するにあたって、前期あるいは当期のデータに以下の情報がある会社別勘定科目を削除すると連結精算表等が正しく作成されない場合があるため、慎重な対応が必要になります。

なお、会社別勘定科目の削除に当たっては、当該データを退避後に実施してください。また、勘定科目体系の見直しを行う場合は、弊社コンサルティング担当にご連絡ください。

1. 貸借対照表の純資産の部の勘定科目及び株主資本等変動計算書の期首残高の勘定科目

削除しないでください。弊社コンサルティング担当にご連絡ください。

2. 個別財務諸表及び個別修正仕訳(開始仕訳の生成も含む)で入力された勘定科目

株主資本等変動計算書の期首残高の勘定科目は、1. で記載のとおり、弊社コンサルティング担当にご連絡ください。

削除する勘定科目について、当期に金額を入力している場合は、入力する勘定科目を他の勘定科目に変更してください。

また、前期に入力している場合は、科目属性ごとに対応が異なります。

(1) 損益計算書の勘定科目・株主資本等変動計算書の変動の勘定科目

株主資本等変動計算書の期首残高を正しく計算するために、前期に入力している場合は、翌期に削除してください。前々期以前に入力した仕訳の勘定科目は削除できます。

(2) 貸借対照表の資産及び負債の勘定科目

個別財務諸表のみに入力されている勘定科目は、翌期に削除できます。個別修正仕訳については以下のとおりです。

		開始仕訳の生成方法	
		積上法	洗替法
会社別 通貨	親会社通貨と同じ	変更できません。	前期に入力した勘定科目は、翌期に削除できます。
	親会社通貨と異なる	変更できません。	変更できません。

3. その他のレポーティング・パッケージ

(1) 「3135/5134 購入固定資産等明細」の資産科目及び資産計上科目

「6147 固定資産未実現損益の確認」で、同一の連結勘定科目に関連付けられている他の会社別勘定科目に変更してください。変更後、該当する会社別勘定科目を削除できます。

(2) 「3124/5124 時価評価した資産負債明細」の勘定科目

「6119 評価差額の確認」で、同一の連結勘定科目に関連付けられている他の会社別勘定科目に変更してください。変更後、該当する会社別勘定科目を削除できます。

(3) その他のレポーティング・パッケージ

以下のレポーティング・パッケージでは、入力の初期値として月次・年次繰越前の会社別勘定科目が表示されます。該当する会社別勘定科目を削除する場合は、クリアしてください。

①3126 債権・債務明細

②3128 取引高明細

③3133 購入棚卸資産期末残高明細

以上